

平成21年に発行されたプレミアム商品券



一 般 質 問

2月定例会では、31人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

ガバナンス＝ニューガバナンス みらい＝みらい・つばさ
社民・市民＝社民・市民ネット 市民連合＝市民連合・あい

※4月1日付けで会派の変更がありましたが、ここでは質問時の会派で掲載しています。

経 済

商店街支援

二瓶忠良議員(日本共産党)

商店街は全国的に疲弊しており、商店の閉鎖が続いている。商店街の問題は商業だけでなく、住民の交流、

**商店街の役割と市民への影響は
商店会連合会等と連携し支援**

防犯、街づくりの問題として捉え、知恵と力を絞っている商店会に積極的な支援することが求められている。市の対策について問う。

答 大型店の進出や経済不況により厳しい運営を強い

市内業者育成

松永修巳議員(緑風会)

市内経済の活性化と共に、市内業者をどのように育成していくのか。地元業者の枠の確保や指

**経済の活性化と共にどう育成
施工能力等の強化が重要**

答 市内業者育成のためには、経済不況下における体力の維持と、技術力や施工能力の強化等が重要である。平成21年4月に改正した入札制度は恒久的なものではないので、今後も受注機会と適正な競争を確保し、社会情勢に見合った入札制度となるよう、適宜、適切に改善を図っていききたい。

況により厳しい運営を強い

農 水 産 業

佐藤義一議員(市民連合)

世界的な食糧危機が叫ばれている。しかし、我が国の食料自給率は40%と低下したままで、国内農業は厳

**現状での経営厳しい 支援策は
今後も対策検討し振興に努める**

しい環境下にある。本市の農業もまた、年々農地面積が減少の一途をたどり、自然環境保全の観点からも農業の衰退を嘆く。これは現状の農業では経済的に成り立たないことや後継者不足が要因である。本市水産業(リ、アサリ)と合わせた支援対策の在り方を問う。

答 現在、都市農業特有の課題に対する施策を展開するため、様々な事業への補助を行っているが、今後も支援策を検討する。また、水産業も漁場の改善や消費拡大を図り、振興に努める。

プレミアム商品券

笹浪 保議員(公明党)

百年に一度の経済不況に見舞われ、本市でも商業に大きなダメージが生じている。地域経済の活性化と

**平成22年度も発行すべきではないか
商工会議所等の独自発行には支援**

して、平成21年に行われたプレミアム商品券発行の効果を問う。また、市内商工会議所や商店会連合会が景気対策として独自に発行する場合は、財政的支援以外の側面的支援を行いたい。

規需要3億3800万円に

平 和

平和学習青少年長崎派遣事業

桜井雅人議員(日本共産党)

終戦65周年事業として、平和学習青少年長崎派遣事業を行うとのことだが、その概要はどのようなものか。

**毎年派遣することは出来ないのか
節目と節目の中間の年も検討**

また、近隣の浦安市、松戸市は毎年派遣事業を実施している。本市は節目の年に派遣と節目の中間の年の派遣について、検討していききたい。

議会図書室との連携

荒木詩郎議員(民主クラブ)

図書館法第3条には、他の図書館等との連携についての規定があり、その中には議会図書室も含まれてい

**議会に対して情報提供できないか
担当者等で協議し実現に努めたい**

る。しかし、現在、本市議会図書室と中央図書館との連携はなされていない。議会に対して情報提供が出来るような仕組みを検討すべきではないか。

教 育

ビーイング

守屋貴子議員(民主クラブ)

ビーイング(子どもの居場所づくり)は一度帰宅してから行くことになっているが、利用者からは家に戻ら

**直接行くことは出来ないか
運営委員会で好ましい方法の検討を**

ず直接行ければ、親が急用等で下校時刻より少し帰宅時間が遅れる場合でも、事件や事故の心配がなく安心との声を聞く。地域で子どもを育てる観点や、利用者の拡大を図るためにも、直接行くことは出来ないか。

学校給食の米

加藤武史議員(自由クラブ)

平成21年度は、保護者の経済負担の軽減を目指し、1億1千万円を予算計上して、学校給食費安定化食

**市内業者から購入すべきではないか
育成の観点から仕様書の内容見直す**

購入緊急措置事業を行った。給食の米を各校に現物支給する事業だが、市外業者からの購入となった。市税を投入する事業であり、市内業者育成からも22年度は市内米穀業者や組合から購入すべきである。考えを問う。